

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 小坂井 盛朗
 幹事 舎人 経昭
 会報・雑誌委員長 伊藤 健文

No. 39

手を貸そう

Lend a Hand

2003～2004年度 RI会長 ジョナサン・B・マジアベ

きょうの例会

第1042回 平成16年6月1日(火)

卓話 “ヘソまがりの話”

会員 竹内 眞三君

きょうの例会

第1041回 平成16年5月18日(火)

曇り

◆黙祷

平成14年6月30日に退会されました中山信夫さんが5月15日にお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

◆“我等の生業”

◆斉唱 “四つのテスト”

◆出席報告

会員	65(55)名	出席	39名
出席率	70.91%		
前々回	4月27日(修正出席率)		98.15%

◆ビジター紹介

山中湖RC	横田 文子君
名古屋東RC (ホストファミリー)	浜 洋一君

◆ゲスト紹介

青少年交換学生ホストファミリー	浅野 まき様
“ ”	浜 美佳様
青少年交換学生	ブリジット君

◆6月会員誕生日

浅井 誠寿君(6/1)	澤田 淳治君(6/4)
宮本 光久君(6/10)	小杉 啓彰君(6/11)
魚津 常義君(6/11)	三輪 康君(6/22)

舎人幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はそのままお残り下さい。
2. 次回例会は6月1日(火)で5月25日(火)は休会となりますのでお間違いの無いようお願い致します。

小坂井会長挨拶

本日は山中湖RCより横田さん、ようこそお越し下さいました。

又、東RC浜君ご夫妻と浅野様にはホストファミリーとしてお世話頂き大変有難うございました。

ブリジット君は今月帰国が決まり、後程ご挨拶して頂きますのでお願い致します。

ダモイ列車が通る

文化部！ 作業に狩り出されむくれるの図

前述したような文化部の活躍は今やラゲルにおける唯一、最大の娯楽として珍重され、特に日曜日の演劇は最早欠く事のできないものとして定着したのであったが、毎回演劇を上演する訳にはいかないの月で一回で、他は演芸大会、のど自慢、手品、お笑い等の軽い物であった。明日はみんなの待ち侘びている演劇という日の夜半、当番兵の大声が響き渡った。「ワゴーンだ。みんな、起床しろ！」通常昼間にワゴーン(ソ連の材木を積む貨車)は来る事が多く減多に夜は来ない。「今夜はみんな大変だな。ご苦労様！」と又一睡りしようと思っていたその時である。

作業長の大声が聞こえて来た。「おーい、文化部員も今夜は作業に出てくれ。ワゴーンの出発までの時間が短いんだ。頼むぞ、早くしてくれ。」「文化部員も積込みに出ろって？俺達はノルマを免除されているんだ。公認じゃないか。」とんでもないとばかりに文化部員一同ブツブツ言って動こうとしない。私は「おいみんな！作業長はそんな事は充分知っておる筈だ。知っていて出て欲しいと言うのはよくよくの事だ。一分後に舎前に整列!!」と大声で叱咤して引っ張り出した。

辛い冬ではなくて良かったが、それでも外はしんと冷える。人員点呼！兵を掌握して駅のプラットへと向かう。

作業長に文化部員小坂井委員長以下十三名到着と報告！直ちに作業に掛かるワゴンが作業長より指示された。急いで行って見ると与えられた三両共プラットホームを外れた所に停車していた。

プラットホームのない所では貨車までの間に長いタラップ（橋）を掛けて材木を積込まなければならないので大変なのだ。みんなは不平を言っているが、今更文句を言っても始まらない。「タラップから足を踏み外すな。絶対怪我をしないように慌てず確実にやってくれ、頑張れよ」と一車両に四名ずつ割当て一人に焚火をたくように命じた。例によって一番弱っているB上等兵だ。

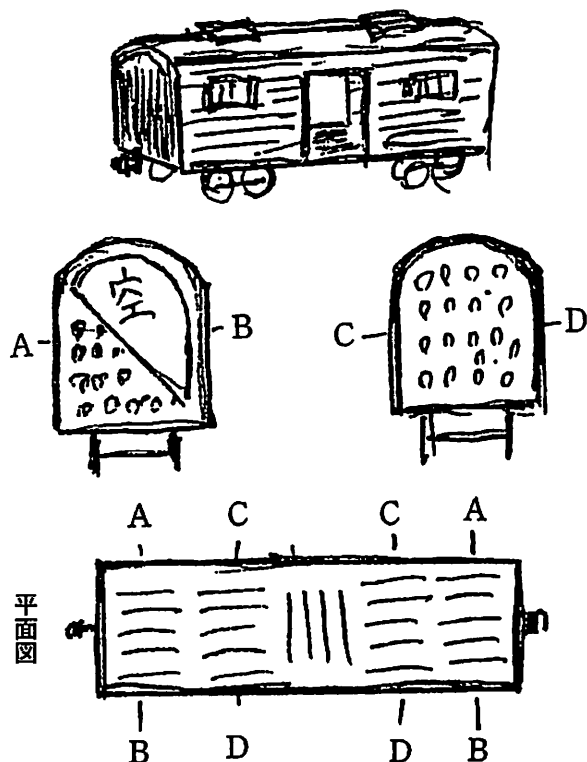
そしてすぐ貨車積作業を開始。太い丸太を二人でかついで積込む、粗末なタラップを渡ってだ。一人が足をすべらしたら二人共転落してしまう。タラップの下は溝状になって低くなっており、一番深いところは一米半位の深さがある。しかも焚火が燃え盛らないうちは一面真暗なのだ。片手にタイマツを持って丸太を右の肩に乗せ足元を照らしながらの積込みである。

ダモイ（帰国）したらトビ職がやれるぞ等と思うのだった。その内に焚火が大きくなって多少足元が明るくなったが昼間のようにはいかない。

ソ連軍の警備兵が例のマンドリン（自動小銃）を肩に掛けて見廻りに来た。「ダワーイ、ダワーイ、ヤンポスキー、スカレイ」（日本兵！早くやれ！）今畜生！ウルセイヤーと思いながらも口では、「ダー、ダー」（ハイハイ、ワカリマシタ）と答え深夜の木材積込みの作業は続いたのであった。

勿論、この積込みが全部真面目にやられた訳ではない。何とか少しでも我々の労力を軽減すべく工夫がされたのである。文章では判り難いので図面で説明しよう。判りますか？A-Bの場所、即ち一番奥は全部積込まない。

ソ連の50屯車



C-Dをソ連警備兵が行った時を見計らって隣の車両の兵も一緒に手伝って天井まで奥が見えないように積み上げてしまう。

その準備作業として四ヶ所にある窓を外から開かないように針金で内からしばってしまうのだ。このやり方で50屯貨車一両の前後で約一列分を空洞にして労力を節約するのだ。

かくて気がつくとき早や夜が白々と明けかけて来たのであった。全員積込み完了。重い疲れた足を運んで宿舎に帰還、そのまま横になって深い眠りに落ちたのであった。

次の日が日曜日だという事もあり、十時頃に眠い目をこすりながら、ささやかな朝食をとっていると「委員長！みんなが演劇をやってくれと言って来てますよ。やるんですか？」「馬鹿言え、みんなと一緒にワゴンの積込みをしたのではないか。今日はみんな休みだ。」

みんなは「そうですね！めし食ったらもう一度寝よう！」と口々に答える。ところが、これがラーゲル中にすぐ拡がり「今日の文化部の演劇は取り止めだだよ。何でも昨晚俺達と同じワゴンの積込みをしたそうさ。」「何！誰が文化部員を作業に出したんだ」「勿論、作業長さ！」「とんでもない奴だ。作業長は我々の楽しみを取上げるつもりか？」と、カンカンガクガクその内にみんなで作業長を取り囲んで吊し上げてしまったらしい。作業長はホウホウの体で私の所へ飛んで来た。

「頼む、作業に出して悪かった。何でも良いから演劇をやってくれ」「ノルマから外されているのを知って作業をさせたのではないか。私はそれなりの事情があるのだらうと思ってみんなを説得して作業の責任を果たしたんだ。その我々が何故、演劇をしなければならないのか。そんな命令は出せん。今日はみんなと同じに休みだ！」とやり返した。

「いや、悪かった。小坂井委員長の言う通りで、一言もない…謝る、この通りだ助けてくれ、今後は絶対に文化部員を作業に出すような事はしない。皆が我々の楽しみを奪うような奴は人民裁判に掛けろと言っている。俺の地位もブツ飛びそうなんだ！何でも良いから一つやって下さい。この通り」と言って手を合わせるのだ。

日頃の鼻柱の強い作業長の態度、言葉とも思えない大変なショゲかえりに、ここで恩を売っておけ、と腹を決め「作業長がああまで言われるんだ。そしてみんなも、お前達の演劇を熱望してくれているんだ。夜中の作業で疲れているだろうが、ここは顔を立てて一つ何かやってくれんか？」

そこは根が演劇が好きでやりたい奴ばかり、「おお！やろう」と言う返事がすぐに返って来た。作業長は大喜び「恩に着る！」とばかりにすっ飛ばすように帰って行った。

そして、演劇が午後一時半から無事に万雷の拍手に迎えられて行われたのであった。

ブリジットさん帰国挨拶

みなさん、こんにちは。ブリジット・スワースキーです。ワシントン州シアトルの近くから去年の8月に日本に来ました。時はとても早く過ぎます。日本に来たのがつい2、3週間前のような気もする一方、もう何年もここに住んでいるような気もします。ここで知り合った友達とは、ずっと幼い頃から知っているように感じます。

私が日本の文化に興味を持ったのは兄が私に見せてくれた日本のアニメでした。それはたぶん私が7才の時だったと思います。それ以来アニメを通して日本を知りました。高校に入学して世界史の授業でアジアの歴史を学びました。そして日本の歴史はすぐに私の興味を引きつけました。アメリカは日本と比べると歴史が浅いので古い文明を学ぶ事はとても面白かったです。そして今私はここ日本に来ました。まだ多くの古い習慣がたくさん現代に残っているのを知りました。まわりの世界が変化し他の国々が過去忘れ去ってきている中で、このような伝統を守り続けている事に驚きを感じずにはいられません。私は日本での滞在をとっても楽しみにしていました。出来ればもっと長くいたのですが、祖父の病状が悪化し私は帰国を早めました。祖父のお見舞いをしなければなりません。また日本に来る予定を立てています。私の日本での経験をアメリカに帰ったら多くの人と分かち合いたいです。お寺やたくさんのお花などです。京都へ花見に連れて行って下さりありがとうございました。帰国したら庭に桜の木を植えるつもりです。そうすればいつも日本にいたという事を思い出せるからです。

私の日本の滞在中、本当にいろいろな事をして頂き心からお礼を申し上げます。ロータリーのみなさまのお陰で私の夢を実現出来ました。そして生活習慣のとても違う国から来た私にまるでアメリカの家にいるような気にさせて下さるようにお心を配り頂きありがとうございました。

私はすでに今年の冬に行われる私の地区のロータリーのオリエンテーションで留学経験者としてスピーチをすることを決めました。来年日本に来る人たちの疑問に答えられるのがとても楽しみです。

本当にいろいろな事をして頂き感謝しております。
みなさん、どうもありがとうございました。



ブリジットへ思い出の写真と記念品を手渡し

◆ホストファミリー浜君より挨拶

ブリジットが皆様にお世話になり有り難うございました。特に大谷先生を始め桜花学園高校の先生方には大変お世話になり本人も喜んでいると思います。そしてカウンセラーとして池森さんにはいろいろと相談に乗って頂いたりご自宅のパーティーに呼んで頂いたりお世話になり有り難うございました。

私と浅野さんのお宅で約9ヶ月間世話を致しました。彼女が言いつけやルールをよく守る非常に手のかからない子でした。ブリジットは皆さんの御指導と本人のやる気で今スピーチしましたように綺麗な発音で日本語を使うことが出来るようになり、帰国にあたっては娘を嫁に出すような気持ちで涙ぐんで参りました。

夏には私どもがブリジットを訪ねて行きたいと思っております。ブリジットには日本の良い所を見せてあげたくて桜や富士山、お寺に初詣…等と思っている内に逆に私どもが日本の良さを改めて感じ直すことが出来、彼女のお陰で日本人である事に心から喜べるようになりました。ブリジットは31日、12時30分成田経由で帰国しますが皆様には来日中お世話になりましたこととお礼申し上げ挨拶と致します。



浅野様・浜様に花束を!!

◆5月度理事役員会議題

1. 新入会員候補者の件
2. クリーンキャンペーンの件
3. 2004～2005年度、例会案内の件

フリッツ・ドレシヤル&後藤 泉 ～チェロとピアノリサイタルのご案内～

と き 7月1日(木)
場 所 しらかわホール
開場 18:30 開演 18:45
前売券 5,000円
演奏曲目 ベートーヴェン：ソナチネ Wo044
ベートーヴェン：ヘンデル「ユダス・マカベウス」の
主題による12の変奏曲 Wo045
J.シュトラウス：ロマンツェ No.2
ベートーヴェン：ソナタ 第1番 へ長調 Op.5
ドヴォルザーク：ロンド Op.94
ブルッフ：コル・ニドライ Op.47
ブラームス：ソナタ 第2番 へ長調 Op.99

※ビジターの山中湖RC横田文子さんよりご案内のチケットです。ご希望の方は事務局までお申込み下さい。

ニコボックス

小坂井盛朗

吾れに比し 若さ身空の 旅立ちは
如何なる訳か 知る由も無く
合掌 中山君の訃報に接し

鈴木 理之

今夕、次年度クラブ協議会にご
出席の皆さん、ご足労をおかけし
ます。

黒須 アイ子

山中湖 R C の方がお出になり、
チェロとピアノのリサイタルの案
内をなさいます。私は河口湖出身
ですので懐しく、皆様の御参加を
よろしくお願ひ申し上げます。

大谷 和雄

4月30日をもって愛知県私学協
会会長を任期満了で退任し、関連
全国副会長も退任いたしました。

皆様にご迷惑をおかけいたしま
した。

堀江 宏輝

ホームクラブ御無沙汰しました。

油田 弘佑・萩原喜代子

林 哲央・池田 隆

池森 由幸・伊藤 健文

伊豫田博明・榎尾 富二

加藤 重雄・菊池 昭元

小林 明・小山 雅弘

松居 敬二・松永 正史

宮尾 紘司・三好 親

水野 民也・水谷 祥督

佐久間良治・笹野 義春

舎人 経昭・山田 壽勝

山本 英次・吉田 節美

ブリジット、お元気で!!

浅井 誠寿・小杉 啓彰

宮本 光久・澤田 淳治

会員誕生日祝い。

牧野登志子

結婚記念日祝い。

合 計

73,000円

ロータリーの友より

2005年愛知万博「愛・地球博」

ロータリー館で友情を深めよう！

2005年日本国際博覧会、愛知万博「愛・地球博」の開催まで1年を切り、各パビリオンの建設やインフラ整備が進められるのに合わせ、当地区も世界中のロータリアンが交流する場として会場内に設ける「ロータリー館（友愛の家）」の建設工事を着々と進めています。

愛知万博は来年3月25日～9月25日、名古屋市東部丘陵地帯（長久手町、豊田市、瀬戸市）の173haを会場に、125か国と8つの国際機関が参加して開かれます。「自然の叡智^{えいち}」をテーマに、さらに①宇宙、生命と情報、②人生の“わざ”と知恵、③循環型社会をサブテーマに設け、人類が直面する地球規模の課題の解決と生き方の方向性の発信を開催の目的としています。

この“地球大交流博覧会”ともいえる万博は、ロータリーの活動の趣旨とも数多く通ずるところがあり、当地区としても積極的に参加することを決定。世界中のロータリアンが交流する場として、さらにはロータリーの活動を広く社会に周知していただくことを目的に、ロータリー館（友愛の家）の設置に努力しています。

今年2月9日には、豊田章一郎同博覧会協会会長、中村利雄同博覧会協会事務総長、地区内パストガバナー、全クラブ会長らが出席して起工式を開催。11月末の完成を目指しています。建設費は、総額で約2億6,000万円。館内には、管理棟と集会場を設置。管理棟は、ロータリー創立100年の記念展示、メイクアップ受付などの場として使用します。集会場は、収容数がいす席だけまたは教室形式の場合400人、会議形式120人で、例会場として使用するほか、ロータリーで使用する時間以外は万博公式行事の一端として提供する予定です。

また、万博開催に向け、会場アクセスとしてシャトルバスや国内初のリニアモーターカーの運行、並行して中部国際空港（セントレア）の開港などが進められています。

特に世界の窓口としての役割を期待される同空港は、来年2月17日の開港に向け、旅客ターミナルビルなどを建設中。T字形の同ビルは、商業施設や展望風呂などが入る本館、国際線と国内線の両ウイング、本館中央から滑走路側に突き出た「センターピア」で構成されます。滑走路は、夏から飛行試験が始まります。これらすべての事業を含め、当地区最大の関心事となっています。

ロータリーの友地区委員 松前 憲典（一宮中央）

次回例会

平成16年6月8日(火)

卓 話 “「日本再生は地方から？」一進む市町村合併”

会員 山本 英次君